

個人請願書

厚生労働大臣 様

政府は昨年末、「世代間の公平性」「年金制度の持続性」を理由に「年金制度改革関連法」（私たちは「年金カット法」と呼んでいます）を強行しました。これによってマクロ経済スライドをさらに強化するキャリアオーバーは2018年4月から、また、賃金の伸びが物価を下回る場合には賃金に合わせて年金を引き下げる年金額改定の新ルールは2021年4月からの実施となっています。

この数年、年金は毎年のように減額されてきました。これ以上の連続的な年金引き下げは、消費税増税、医療・介護の負担増のもとで高齢者の暮らしを直撃するばかりか、非正規雇用で働く労働者や若者など将来の年金生活者にとっても重大な問題です。

いま、国にやってほしいことは、最低賃金の大幅引き上げと非正規雇用を正規雇用に変えること、国の責任で全額国庫負担による「最低保障年金制度」をつくることです。

国が、現在と将来にわたって若い人も高齢者も安心できる年金制度を確立するために、私は以下のことを請願します。

1. これ以上の年金引き下げはやめてください。
2. マクロ経済スライドを廃止し、「年金カット法」の年金額改定新ルールは実施しないでください。
3. 全額国庫負担による最低保障年金制度を早急に実現してください。
4. 年金支給開始年齢のこれ以上の引き上げはやめてください。
5. 年金の隔月支給を、国際標準である毎月支給にしてください。

2017年10月20日

住所 _____

氏名 _____

取り扱い 全日本年金者組合 170-0005 東京都豊島区南大塚 1-60-20
Tel: 03-5978-2751 Fax: 03-5978-2777